



大岡信ことば館  
OOKA MAKOTO KOTOBA MUSEUM

<報道発表資料>

2016年3月  
大岡信ことば館

企画展

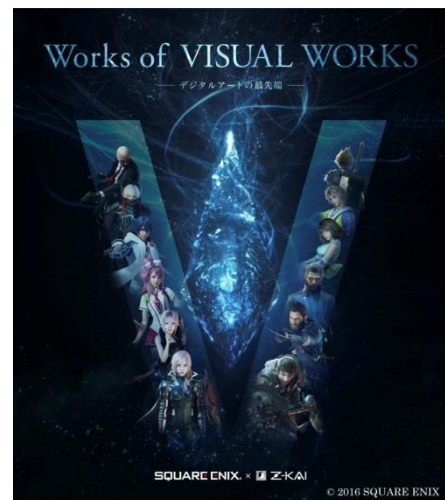
スクウェア・エニックス×Z会

## Works of VISUAL WORKS

—— デジタルアートの最先端 ——

2016年3月26日(土)～8月31日(水)

株式会社増進会出版社・大岡信ことば館では、3月26日より、株式会社Z会と共催で企画展「スクウェア・エニックス×Z会 Works of VISUAL WORKS —デジタルアートの最先端—」を開催いたします。この展覧会は、「ファイナルファンタジー」シリーズや「ドラゴンクエスト」シリーズの映像制作で世界的に知られる「スクウェア・エニックス ヴィジュアルワークス部」の特別協力を得て実現するものです。



「ファイナルファンタジー」シリーズや「ドラゴンクエスト」シリーズで広く世界に知られる、株式会社スクウェア・エニックスの映像制作集団「ヴィジュアルワークス」。高い技術に裏打ちされた美しい映像とその世界観は、観る者を魅了します。単にゲームの世界に留まらず、様々な業種と数多くのコラボレーションを手がけてもいます。

本展は、これらヴィジュアルワークスの仕事を通じて、デジタルアートの最先端に迫るものです。彼らの作品や制作工程から見えてくる、デジタルアートの現在とは？

また本展では、制作者自身にも着目します。単に美しいだけでなく、観る者を飽くことなく作品の世界に引き込むには、高い創造力が必要になってくるはずですが、それをどう高め、維持し、制作に反映していくのか。そこに、デジタルアートの最先端を切り拓く、彼らの「表現者」としてのプライドが厳然と存在するのです。

## 開催概要

- 【**展覧会名称**】 スクウェア・エニックス×Z会  
Works of VISUAL WORKS ―デジタルアートの最先端―
- 【**会期**】 2016年3月26日（土）～8月31日（水）  
会期中展示替えがあります  
前期：3月26日～6月26日  
後期：6月28日～8月31日
- 【**開催場所**】 大岡信ことば館  
〒411-0033 静岡県三島市文教町1-9-11 Z会文教町ビル 1,2F  
TEL:055-976-9160/FAX:055-989-1360  
<http://kotobakan.jp/>  
<http://kotobakan.jp/exhibitions/wovw>（展覧会詳細ページ）  
E-mail:kotobakan@zkai.co.jp
- 【**開館時間**】 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
※毎週金曜日は午後7時まで開館（入館は午後6時30分まで）
- 【**休館日**】 月曜日 ※5月2日と7月18日は開館 ※7月19日は休館
- 【**入館料**】 大人1,000円／大学生700円／小中高生500円／未就学児無料  
・障害者手帳ご呈示の方および、その付き添いの方1名無料  
・静岡県内の小学生はミュージアムパスポートご呈示で無料  
・シニア割引 毎週木曜日 ※60歳以上の方は半額  
・団体（4名以上） 各100円引き  
※割引の併用不可
- 【**主催**】 株式会社Z会／大岡信ことば館
- 【**協賛**】 第一三共株式会社／スルガ銀行／伊豆箱根鉄道株式会社  
みしまプラザホテル
- 【**特別協力**】 株式会社スクウェア・エニックス ヴィジュアルワークス部
- 【**後援**】 静岡県、三島市、沼津市、長泉町、清水町、裾野市、御殿場市、  
富士宮市、伊豆の国市、伊豆市 各教育委員会／富士市  
静岡第一テレビ／静岡朝日テレビ

【みどころ】 ヴィジュアルワークスの仕事を、制作工程を中心に紹介。「ファイナルファンタジー」等のゲームに登場する印象的なことばも、ことば館ならではの造形で紹介します。

■ヴィジュアルワークスの作品をダイジェストで紹介！

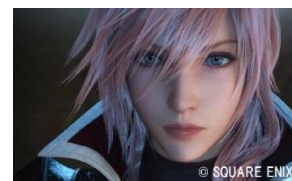
「ファイナルファンタジー」シリーズを始めとする数々の作品をダイジェストで上映。また、名シーン、名キャラクターを、壁面いっぱいの大画像と等身大ウォールスクリーンで紹介。さらに、等身大のジャッジマスターや巨大クリスタルが来館者をお迎えします。



■企画から作品完成までの3つの工程を映像で解説

<A工程>

企画をもとに作品の指針となる「プリビズ」制作を始まりに、キャラクターの見た目を試作し作りこんでいく「ルックデブ」。そしてすべてのシーンのエレメント(要素)を洗い出す「ブレイクダウン」の工程までを解説します。



<B工程>

キャラクターから小物にいたるまでの「アセット(素材)」を制作します。背景では古くから映画製作で使われてきた「マットペイント」の手法をデジタルに 응용して壮大なイメージを作り出します。また、キャラクターの動きの仕組みを作る「リギング」、そして「アニメーション」、髪の毛や服の動きの「シミュレーション」、画面一杯に大人数が動き回る「群集シミュレーション」などの制作工程を紹介します。



<C工程>

爆発などの物理シミュレーションに代表される「エフェクト」を加え、光を使って映像の意味と世界の色を「ライティング」で構築。そして全体を「コンポジット」して「エディット(編集)」へと、最終段階へ向かいます。伝えたい思いをどう演出するか考えながら、魅力的な映像をつくり上げるための最終工程です。



### ■モーションキャプチャー設備紹介

人や物の動きをデジタルデータとして記憶させることができる「モーションキャプチャー」。CGキャラクターに動きを与えます。



■ヴィジュアルワークススタッフの制作の現場に迫る制作スタッフへのインタビューやデスクの再現などから、制作の現場に迫り、彼らの創造性を探ります。



### 【併設展示】

#### □<sup>おおおかまこと</sup>大岡信の部屋

大岡信の部屋では、詩人・大岡信（1931年～）の多彩な仕事を紹介しています。

今回は、大岡信の現代語訳による、遠いむかしのファンタジー「おとぎ草子<sup>ぞうし</sup>」を取り上げます。今話題の「浦島太郎」と「一寸法師」。知っているようで知らないその全容とは？

### 【会期中のイベント（予定）】

※③を除く全てのイベントで事前申込が必要です。当館ウェブサイトよりお申込ください。

※イベントは予告なく変更する場合がございます。

#### ①生守一行氏 講演会（生守一行：ヴィジュアルワークス部 ジェネラル・マネージャー）

##### i. ヴィジュアルワークスのCG映像制作～過去の作品から解説～

日時：4月24日（日） 13：30～15：00

定員：200名（先着順） ※未就学児入場不可

料金：大人1500円 大学生1000円 小中高生600円（展覧会観覧料含む）

##### ii. ヴィジュアルワークスの作品と世の中へのアプローチ

日時：7月24日（日） 13：30～15：00

定員：200名（先着順） ※未就学児入場不可

料金：大人1500円 大学生1,000円 小中高生600円（展覧会観覧料含む）

#### ②座談会 出演：ヴィジュアルワークス制作スタッフ

日時：6月5日（日） 13：30～15：00

定員：200名（先着順） ※未就学児入場不可

料金：大人1500円 大学生1000円 小中高生600円（展覧会観覧料含む）

### ③ヴァーチャルカメラ体験

モーションキャプチャーを使用したカメラワーク体験ができます

日時：4月16日(土)・5月21日(土)・6月18日(土)・7月23日(土)・7月24日(日)・  
8月13日(土)・8月14日(日)・8月27日(土)・8月28日(日)

いずれも11:00～、13:00～、14:00～、15:00～(1人あたり5分程度)

定員：各回5名(先着順/当日の10時から、各回の整理券を配布します)

料金：無料(ただし、観覧料が必要です)

### 【ワークショップ】

#### ①ストップモーションアニメーションを楽しもう

講師：水内章裕(デザイナー)

日時：5月22日(日) 13:30～15:30 料金：500円

#### ②ロボットをつくってみよう

講師：三井康亘(ロボットアーティスト)

日時：7月31日(日)

i. 13:00～14:30 サッカーロボットをつくろう 料金：2500円

ii. 15:00～16:30 ぷるぷるロボットをつくろう 料金：1000円

#### ③レジンでクリスタルづくり

講師：岩本夏樹(アーティスト)

日時：8月7日(日) 14:00～/14:30～/15:00～/15:30～

料金：800円

### 【そのほか】

ミュージアムショップでは、みどころ満載の展覧会図録をはじめ、本展オリジナル商品を販売。  
ほかにもスクウェア・エニックス関連商品を取り揃えます。

以上

取材のご希望および詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

また、図版掲載をご希望の場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

### 【お問い合わせ】

大岡信ことば館

〒411-0033 静岡県三島市文教町1-9-11 Z会文教町ビル1,2階

TEL:055-976-9163/FAX:055-989-1360

E-mail: kotobakan@zkai.co.jp

<http://kotobakan.jp/>

展覧会詳細情報 <http://kotobakan.jp/exhibitions/wovw>

広報担当：関 義明/展覧会担当：奈良本真紀、小川由璃子